

令和6年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	河川整備課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	阿南市	
事業の規模・状況	1400	m 小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

大津田川は、河床勾配が非常に緩いこと(1/1500程度)、県道(大津田橋)上流域の地盤が低いことから溢水による浸水被害を繰り返している。このため、昭和45年度より1,400mの区間を対象に河川改修に着手し、河道拡幅及び河床掘削を実施している。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○				○	○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】

大津田川周辺は、オグラコウホネ(環境省:絶滅危惧Ⅱ類、徳島県版:絶滅危惧ⅠB類)が生育していることから、専門家である「徳島県植物研究会会長(木下先生)」に助言を求め、環境に配慮しながら事業を進めている。
事業の実施にあたっては、工事範囲内のオグラコウホネを、工事が完了した範囲に移植し、定着状況の確認を行うとともに、固有種の生息に影響を与える外来植物(オオフサモ)の駆除を実施した。

【目標に対する達成状況】

平成30年度以降に移植した「69群落」のうち「59群落」で定着が確認された(定着率:約86%)。

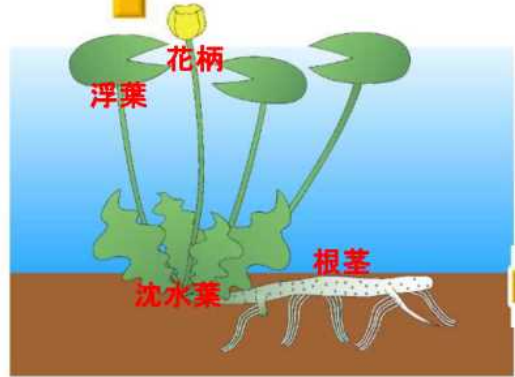
【実施事項に対する評価】

実施者	引き続き、オグラコウホネの移植とモニタリング調査を実施して、知見の向上に努める。
主管課	河川改修後もオグラコウホネが生育できる環境が創出されていることが確認できた。 引き続き、モニタリングを実施しながら河川環境の整備と保全に取り組む必要がある。
専門家	

保全対象種

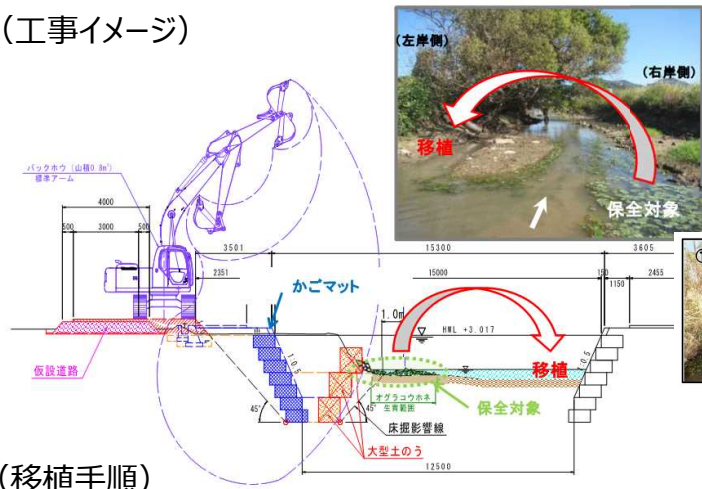


科 目:スイレン科
生息地:ため池、河川、水路など
花 期:6～8月
特 徴:多年草の水草
やや堅く太い白色の根茎が地中を横走、分枝した根茎の先端から沈水葉と浮葉を根生



写真、図面等

(工事イメージ)



名 称	オオフサモ	オグラコウホネ
指 定	特定外来生物	絶滅危惧種
分 類	アリトウカ科	スイレン科
基礎情報	溜池、河川、水路	溜池、河川、水路
原 産	南米	日本
繁殖期	5～6月	6～10月
その他	多年草、抽水植物	多年生、浮葉植物

(外来植物オオフサモの駆除)



(移植手順)

